

JOMF 派遣医師便り (2020.02)



2019年11月～2020年1月の感染症受診病態

マニラ日本人会診療所

菊地 宏久

1) インフルエンザ :

当地ではインフルエンザは例年8～10月に流行します。現在はピーク時よりは少ないもののA型インフルエンザの患者さんが散発しています。ほとんどの患者さんは「突然の高熱」を主訴に来院しており、初期症状のみでは Dengue 熱との鑑別が困難です。予防にはワクチン接種、手洗いが大切です。今年のワクチン接種は2020年5月頃になる予定です。

2) マイコプラズマ呼吸器感染症 :

当地ではインフルエンザと同様に年間を通して患者発生が認められています。「夜間に咳で眠れない、起きてしまう」、「咳が日毎に悪化して治らない、長期間続く咳」という主訴での来院患者さんが多くおられます。予防には手洗いが重要です。

3) Dengue 熱 :

当院受診の患者数は昨年2019年11月にピークを越えた印象です。現在当地は乾季のため患者数は多くありませんが、蚊に刺されないように注意しましょう。

4) アメーバ性大腸炎 :

年間を通して患者さんが受診しています。便を介して感染する病気です。「日本食は安全、フィリピン料理は危ない」と“思い違い”をされている方が多くみられます。刺身、生野菜などの摂食には十分な注意が必要です。

追記 :

新型コロナウイルス感染症に関する不安や質問が2020年1月下旬から急増しています。多くの情報や見解が錯綜しています。日々最新の医学情報が変更・更新されています。予防策で最も重要なことは「きちんとした手洗い」です。

皆さまお体大切になさってください。2020年2月11日